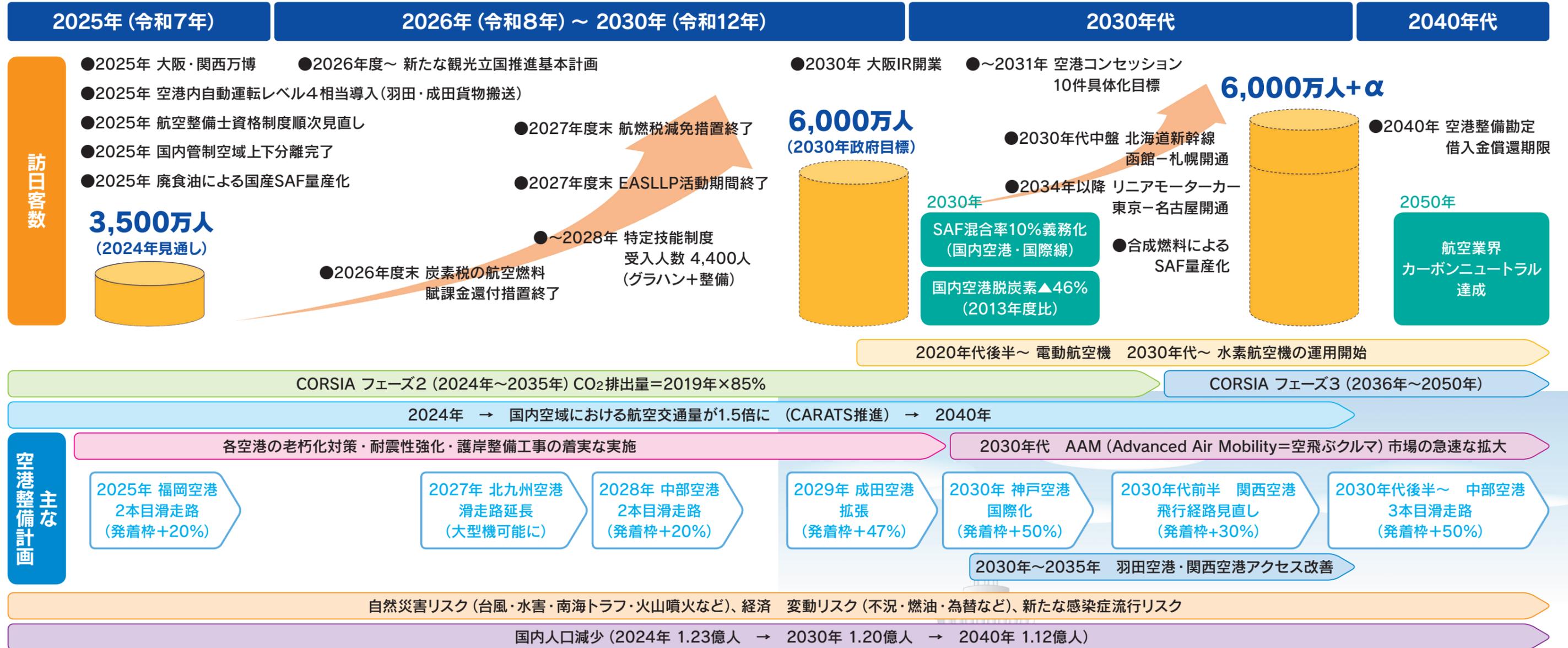


# 大きく変わる日本の空 産業の成長・発展につながる政策実現を!

コロナ禍が明けて以降、訪日需要が急増しています。その中で今後、国内の各空港では、発着枠の拡大を伴う整備が急速に進んでいきます。航空関連産業に携わ

るあらゆる人材の確保を着実に図るとともに、大きなチャンスを実際に捉え、産業全体のさらなる成長・発展につなげていく観点の政策実現が極めて重要となります。



**目指す政策実現**

**「成長産業」としての成長促進策**

- 航空機燃料税の廃止、空港整備勘定の見直し着手
- 航空保安に関する責任主体・費用負担のあり方見直し
- カーフェュー(運用時間制限)の見直し
- SAF国産化推進・サプライチェーンの構築

**人材確保×技術革新×規制緩和による「圧倒的な生産性向上」**

- 整備士資格制度の運用改善、空港人材・観光人材確保策の強化
- 手荷物業務DX・自動運転技術の導入推進
- 地方自治体における空港政策の充実
- 協業領域の拡大、適正取引の推進

**安心して働ける環境づくり**

- 空港の防災・復興拠点体制強化、事故発生時対応強化の予防策強化
- 制限区域内事故のカスハラ対策強化
- 無断撮影抑止、受け入れ策強化
- 特定技能人材の

**〈あるべき近未来の空港像(例)〉**

- 働く人が、いつも笑顔でいきいきと、長く楽しく仕事ができる空港
- 技術が人の力を徹底してサポートする、事故ゼロで安心して働ける空港
- 外国人が自身の技能を最大限発揮し、職場の仲間が研鑽し合える空港
- 事業者が利用客視点に基づき、高いレベルで協力・連携する空港
- 利用客が不便なくアクセスし、ストレスフリーに往来する空港
- 地域に愛され、新しい魅力を探しに住民が行きたくなる空港
- 地震や災害の時でも安全が守られ、対策の拠点として価値発揮する空港
- SAFが安定供給され、かつクリーンエネルギーで安定稼働している空港